

2020年3月期 決算説明資料



2020年5月28日(木)

2020年3月期 実績	-----	P. 2～10
2021年3月期 見通し	-----	P. 11～17
ご参考資料	-----	P. 18～29

<注 記>

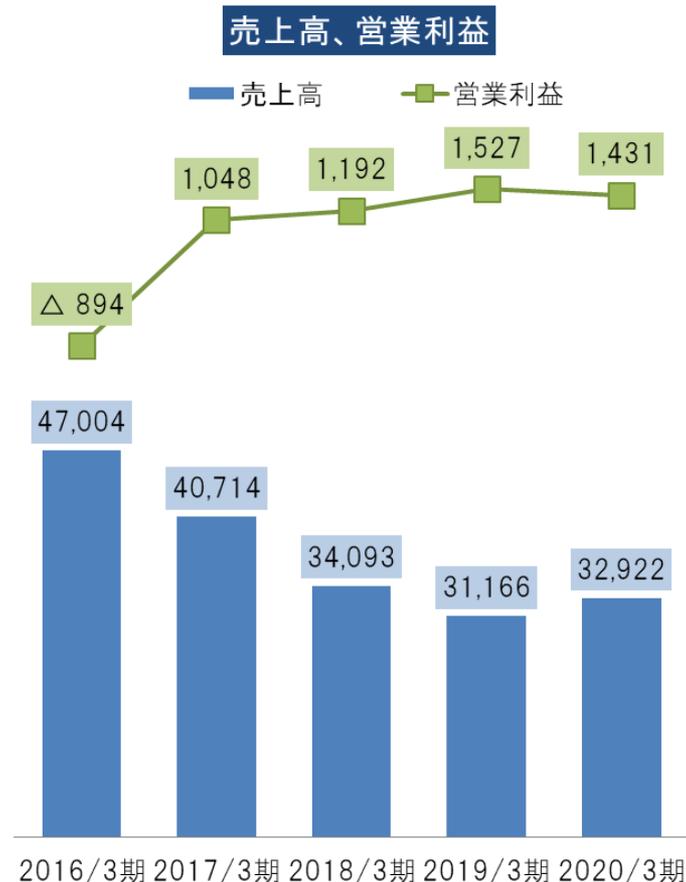
- 本資料に掲載されているダイコク電機の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。これらの情報は、現在入手可能な情報から当社の経営者の判断に基づいて作成されております。
- 実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願い致します。
- 本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるよう、お願い申し上げます。

2020年3月期 実績

前期比で増収、減益

売上高	32,922百万円
営業利益	1,431百万円
経常利益	1,674百万円
当期純利益	1,061百万円

単位:百万円



単位:百万円

	2019年3月期		2020年3月期	
	前期比	計画比	前期比	計画比
売上高	31,166	32,922	+1,756	△ 1,078
売上総利益	11,673	12,040	+367	△ 60
販売管理費	10,145	10,608	+463	△ 292
営業利益	1,527	1,431	△ 96	+231
経常利益	1,748	1,674	△ 74	+424
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,263	1,061	△ 202	+261
研究開発費	1,206	1,170	△ 36	△ 40

(注)計画比は、2019年5月14日に発表した2020年3月期 業績予想数値、並びに、2019年5月30日開催の機関投資家・アナリスト向け2019年3月期決算説明会資料記載の計画対比です。

主力の情報システム事業が堅調に推移し、増収

情報システム事業

売上高26,354百万円（前期比1,880百万円増加）

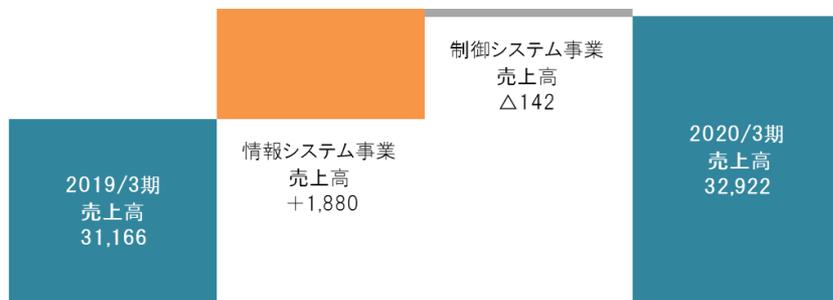
機器販売

新製品AIホールコンピュータ「X(カイ)」は、新機能の追加、提案活動の強化により、主要製品の中で最も売上増加に貢献しました。また、情報公開端末「REVOLA」は、高級感のあるスタイリッシュなフォームと多彩なコンテンツが市場で高い評価を獲得し、「X」に次いで売上増加に貢献しました。その結果、機器販売は前期比1,585百万円増加しました。

サービス売上

ストック型ビジネスである「MGサービス」の売上も堅調に推移し、サービス売上は前期比295百万円増加となりました。

単位：百万円



制御システム事業

売上高6,598百万円（前期比142百万円減少）

パチンコ遊技機向け部品販売は好調に推移しましたが、表示ユニット及び制御ユニットの販売は、市場全体の新台販売台数減少に伴う遊技機メーカーの販売計画見直しやリユース率の上昇などから、前連結会計年度を下回り、前期比268百万円減少となりました。コンシューマゲームは、前連結会計年度を上回り、前期比126百万円増加となりました。

(注)セグメント業績の売上高にはセグメント間取引が含まれております。

営業利益 増減要因

販売管理費の増加により、減益

情報システム事業

セグメント利益 3,104百万円 (前期比 379百万円増加)

制御システム事業

セグメント利益 78百万円 (前期比 410百万円減少)

※全社経費 1,751百万円 (前期比 65百万円減少)

情報システム事業

研究開発費 939百万円
(前期比 185百万円減少)

制御システム事業

研究開発費 230百万円
(前期比 148百万円増加)

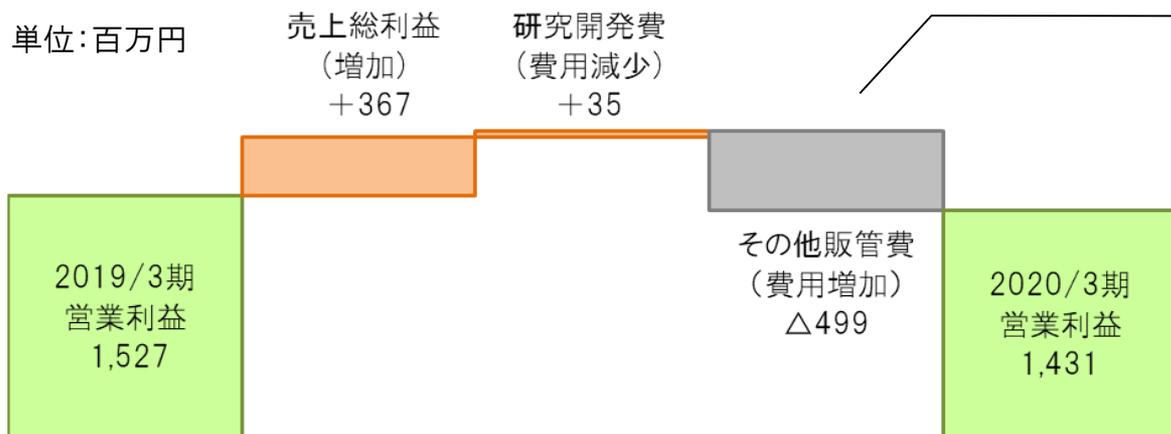
その他販管費 (主な項目)

減価償却費 : 基幹システム、サーバー等
(前期比 225百万円増加)

オンラインゲーム経費
(前期比 80百万円増加)

情報展示会・販促費
(前期比 70百万円増加)

社内PC Windows10対応費
(前期比 70百万円増加)



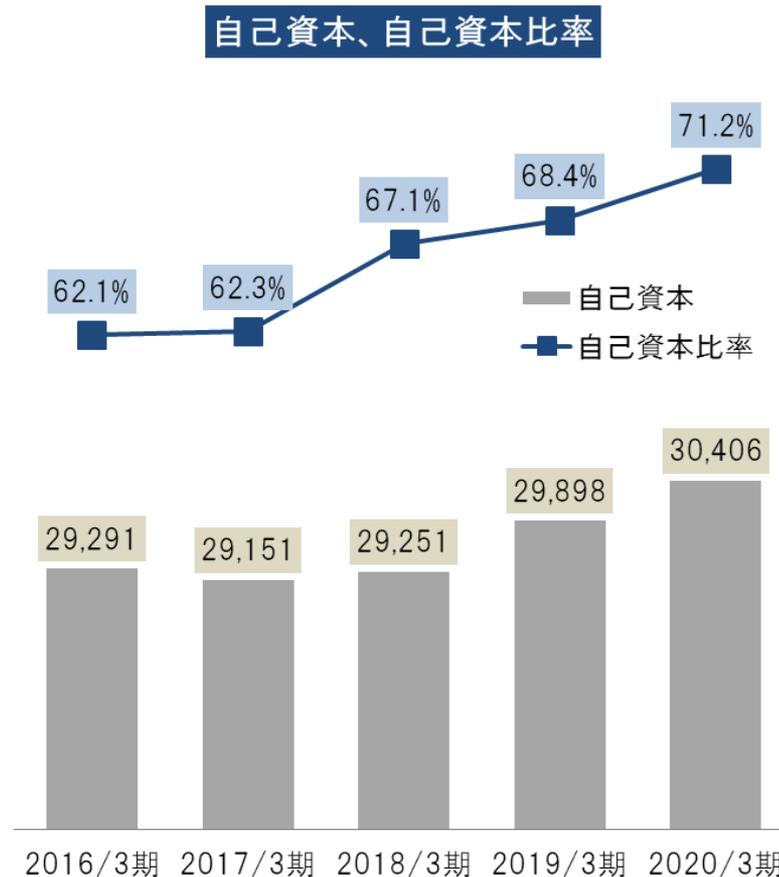
流動負債の減少に伴い、総資産が増加

総資産	42,702百万円
負債合計	12,296百万円
純資産合計	30,406百万円

単位:百万円

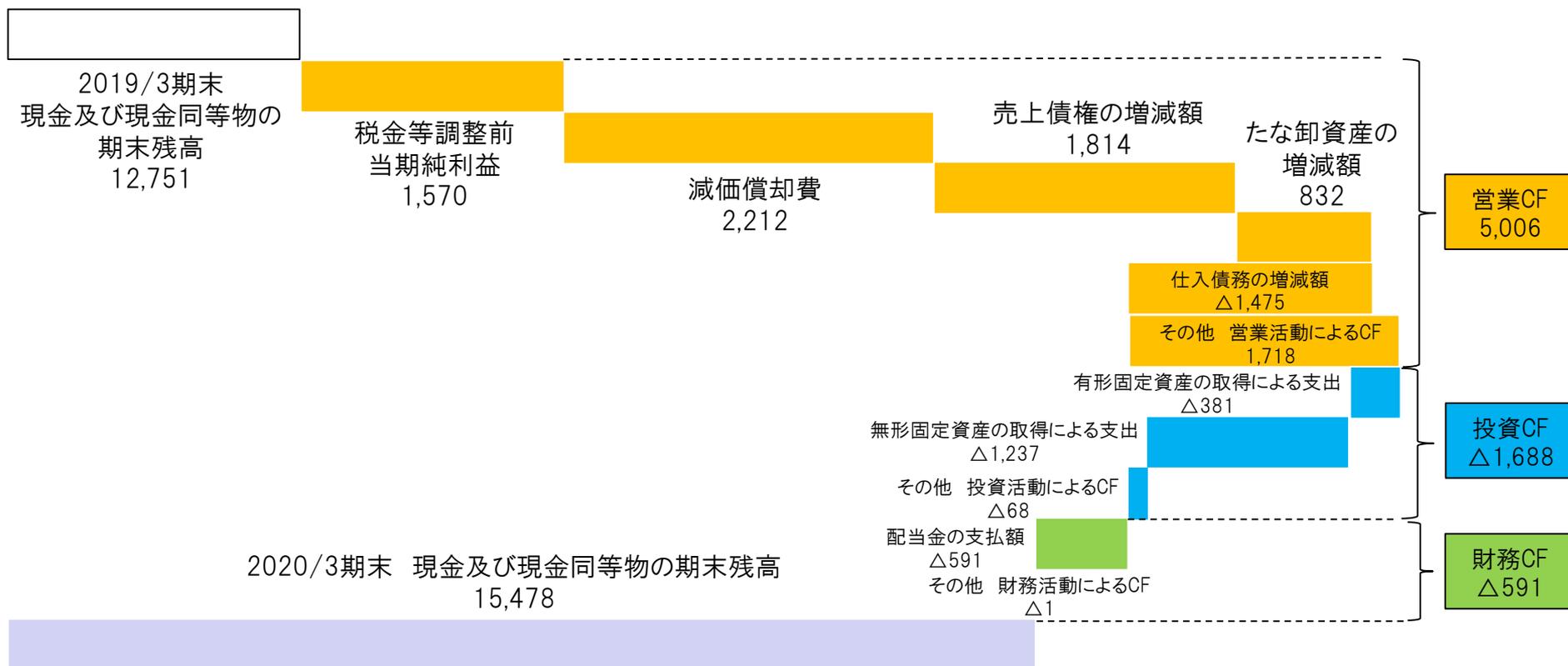
	2019年3月期	2020年3月期	前期末比
流動資産	26,397	26,247	△ 150
固定資産	17,331	16,455	△ 876
資産合計	43,729	42,702	△ 1,026
流動負債	12,339	11,148	△ 1,191
固定負債	1,491	1,147	△ 343
負債合計	13,831	12,296	△ 1,535
純資産合計	29,898	30,406	+508
負債純資産合計	43,729	42,702	△ 1,026
有利子負債	3,300	3,300	±0
D/Eレシオ(グロス)	0.11倍	0.10倍	△ 0.01倍
自己資本比率	68.4%	71.2%	+2.8%
手元流動性比率	4.91カ月	5.64カ月	+0.73カ月
売上債権回転日数	80.1日	72.3日	△ 7.8日
棚卸資産回転日数	63.3日	52.5日	△ 10.8日
仕入債務回転日数	72.1日	58.0日	△ 14.1日
発行済株式総数(株)	14,783,060	14,783,032	—

単位:百万円、%



売上債権の減少などにより、営業キャッシュ・フローが増加

単位:百万円	2019年3月期	2020年3月期
営業CF	1,875	5,006
投資CF	△ 2,364	△ 1,688
財務CF	△ 592	△ 591
現金及び現金同等物	12,751	15,478



情報システム事業において、機器販売が好調

単位:百万円

	2019年3月期		2020年3月期	
			前期比	計画比
情報システム事業				
機器販売	13,871	15,456	+1,585	+299
サービス売上	10,603	10,898	+295	+55
小計	24,474	26,354	+1,880	+354
制御システム事業				
ユニット・部品販売	5,427	5,159	△ 268	△ 1,121
パチスロ販売/コンシューマゲーム	1,313	1,439	+126	△ 281
小計	6,740	6,598	△ 142	△ 1,402
セグメント売上高	31,215	32,953	+1,738	△ 1,047
情報システム	2,725	3,104	+379	+604
制御システム	488	78	△ 410	△ 622
セグメント利益	3,214	3,183	△ 30	△ 17
全社経費	△ 1,686	△ 1,751	△ 65	+249
連結売上高	31,166	32,922	+1,756	△ 1,078
連結営業利益	1,527	1,431	△ 96	+231

(注)計画比は、2019年5月14日に発表した2020年3月期 業績予想数値、並びに、2019年5月30日開催の機関投資家・アナリスト向け2019年3月期決算説明会資料記載の計画対比です。

セグメント売上高

■ 情報システム事業 ■ 制御システム事業



セグメント利益

■ 情報システム事業 ■ 制御システム事業



「REVOLA」の販売台数が伸び、「VEGASIA」の販売台数も堅調に推移

情報システム事業		2019年3月期(実績)		2020年3月期(実績)	
		上期	通期	上期	通期
売上高 (百万円)		11,077	24,475	14,908	26,354
セグメント利益 (百万円)		1,399	2,725	2,309	3,104

主な製品販売		2019年3月期(実績)		2020年3月期(実績)	
		上期	通期	上期	通期
ホールコンピュータ		36 台	84 台	31 台	57 台
呼び出し ランプ	BIGMO PREMIUM	13,977 台	32,686 台	19,533 台	33,979 台
	REVOLA	10,183 台	32,972 台	20,244 台	39,450 台
	IL-Xシリーズ	11,017 台	18,887 台	6,585 台	9,038 台
CRユニット「VEGASIA」		19,681 台	52,711 台	34,023 台	51,849 台
		29 件	68 件	43 件	73 件

主なサービス販売		2019年3月期(実績)		2020年3月期(実績)	
		上期	通期	上期	通期
Xai&C II スタンダード		2,866 件	2,869 件	2,878 件	2,873 件
Xai&C II -SIS会員		1,360 件	1,415 件	1,515 件	1,550 件
CRユニット導入店舗		706 件	743 件	787 件	812 件
MGサービス売上高 (百万円)		2,206	4,454	2,309	4,672

※事業の種類別セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

遊技機用ユニットは、機種数・台数共に減少

制御システム事業	2019年3月期(実績)		2020年3月期(実績)	
	上期	通期	上期	通期
売上高 (百万円)	3,173	6,740	3,750	6,598
セグメント利益 (百万円)	335	488	△ 66	78

	2019年3月期(実績)		2020年3月期(実績)	
	上期	通期	上期	通期
表示ユニット 機種数	6 機種	12 機種	4 機種	10 機種
販売台数	45,953 台	73,693 台	25,660 台	61,251 台

パチスロ	2019年3月期(実績)		2020年3月期(実績)	
	上期	通期	上期	通期
販売機種数	0 機種	0 機種	0 機種	0 機種
販売台数	0 台	0 台	0 台	0 台

※制御システム事業では、遊技機メーカーへの「開発費売上」を研究開発費の取消しとして計上しています。

※事業の種類別セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

2021年3月期 見通し

状況の変化に臨機応変に対応しつつ、将来を見据えた取り組みを実施

■ 短期戦略

2021年3月期 上期	2021年3月期 下期
<ul style="list-style-type: none">▶ 緊急事態宣言によるホール休業▶ 設備市場の冷え込み	<ul style="list-style-type: none">▶ パチンコ新内規(遊タイム) 機種が増加▶ 大手ホール企業によるM&Aの動きが加速



下期の市場活性化に期待

■ 中期戦略

新技術の基礎研究、新規事業の検討等を行う **研究開発部** を新設。(2020年4月1日付)

「X(カイ)」と「Market-SIS」の普及に注力

AIホールコンピュータ
「X(カイ)」の普及

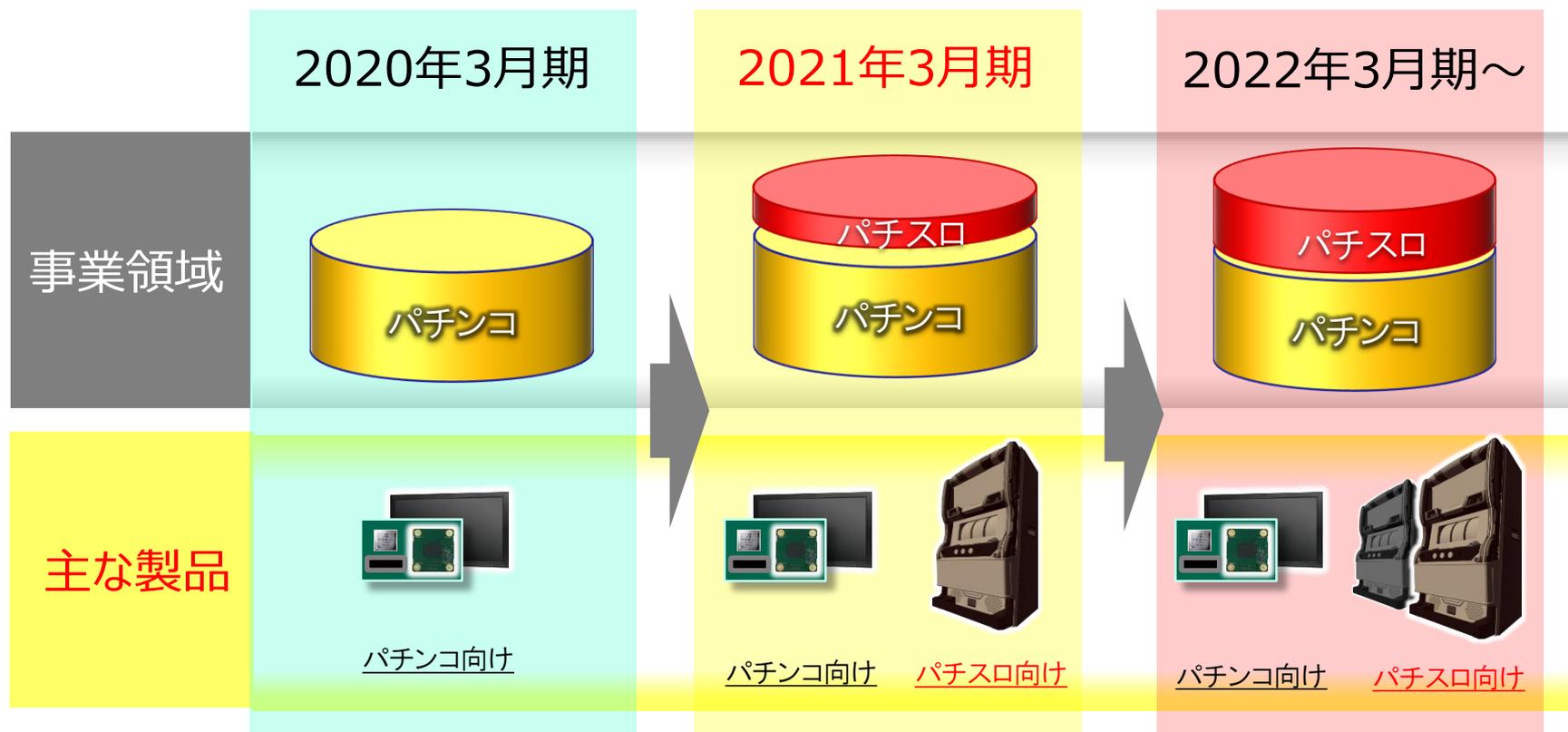
➤ パチンコ新内規（遊タイム）対応

- 新型コロナウイルス対応
- ホール内禁煙化対応
- AI・ビッグデータ分析機能の強化
- 省力化機能の強化

商圈分析サービス
「Market-SIS」の普及

- AI・ビッグデータ分析機能の強化

下期よりパチスロビジネスを本格化し、事業領域を拡大



これまで培ったハードとソフト技術を活用し、**一括受託開発**を進める。

第3四半期以降は、段階的に業界の市場変化が正常化に向かうことを想定

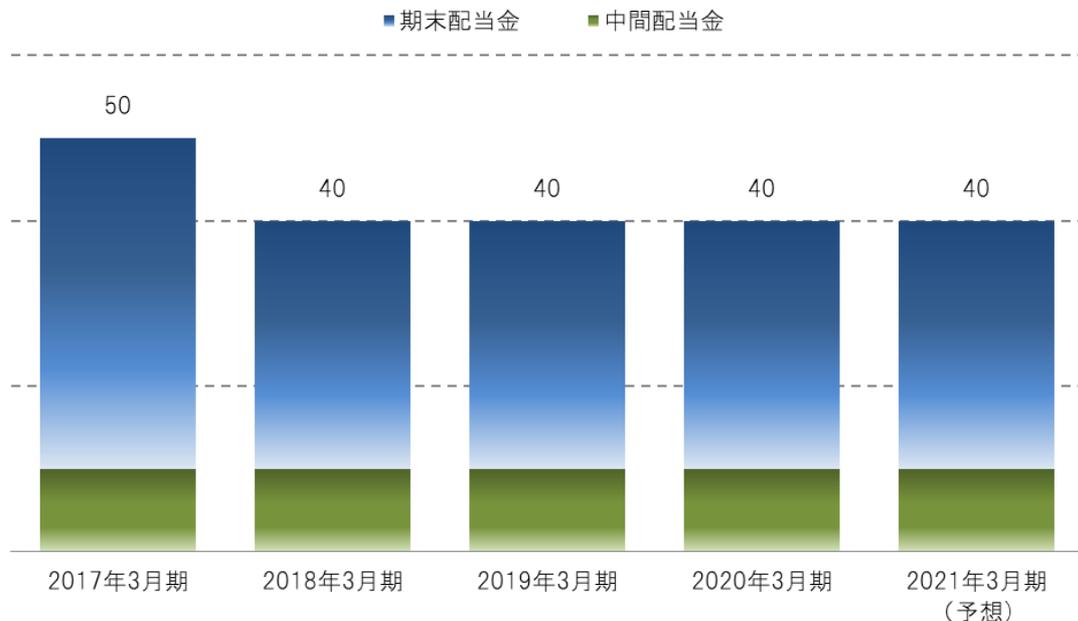
単位:百万円	2020年3月期 実績			2021年3月期 見通し			前期比
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	18,643	14,279	32,922	11,000	17,000	28,000	△ 4,922
売上総利益	6,682	5,358	12,040	4,050	6,450	10,500	△ 1,540
販売管理費	5,379	5,229	10,608	5,350	4,750	10,100	△ 508
営業利益	1,302	129	1,431	△ 1,300	1,700	400	△ 1,031
経常利益	1,421	253	1,674	△ 1,250	1,750	500	△ 1,174
親会社株主に帰属する 当期純利益	912	149	1,061	△ 1,250	1,550	300	△ 761
研究開発費	713	457	1,170	650	103	753	△ 417
減価償却費	1,022	1,190	2,212	987	1,132	2,119	△ 93
設備投資	61	355	416	266	278	545	+128
ソフトウェア	468	668	1,136	436	409	845	△ 291

情報システム事業は減収減益だが、制御システム事業は増収増益を見込む

単位:百万円	2020年3月期 実績			2021年3月期 見通し			前期比
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
情報システム事業	14,908	11,446	26,354	8,500	12,500	21,000	△ 5,354
制御システム事業	3,750	2,848	6,598	2,500	4,500	7,000	+402
セグメント売上高	18,658	14,295	32,953	11,000	17,000	28,000	△ 4,953
情報システム事業	2,309	795	3,104	100	1,600	1,700	△ 1,404
制御システム事業	△66	144	78	△400	1,000	600	+522
セグメント利益	2,243	940	3,183	△300	2,600	2,300	△ 883
全社経費	△940	△811	△ 1,751	△1,000	△900	△ 1,900	△ 149
連結売上高	18,643	14,279	32,922	11,000	17,000	28,000	△ 4,922
連結営業利益	1,302	129	1,431	△1,300	1,700	400	△ 1,031

(注)事業の種類別セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

安定配当を基本方針に、中間配当10円、期末配当30円、通期合計40円予想



安定配当 40円

- 中間配当10円
- 期末配当30円

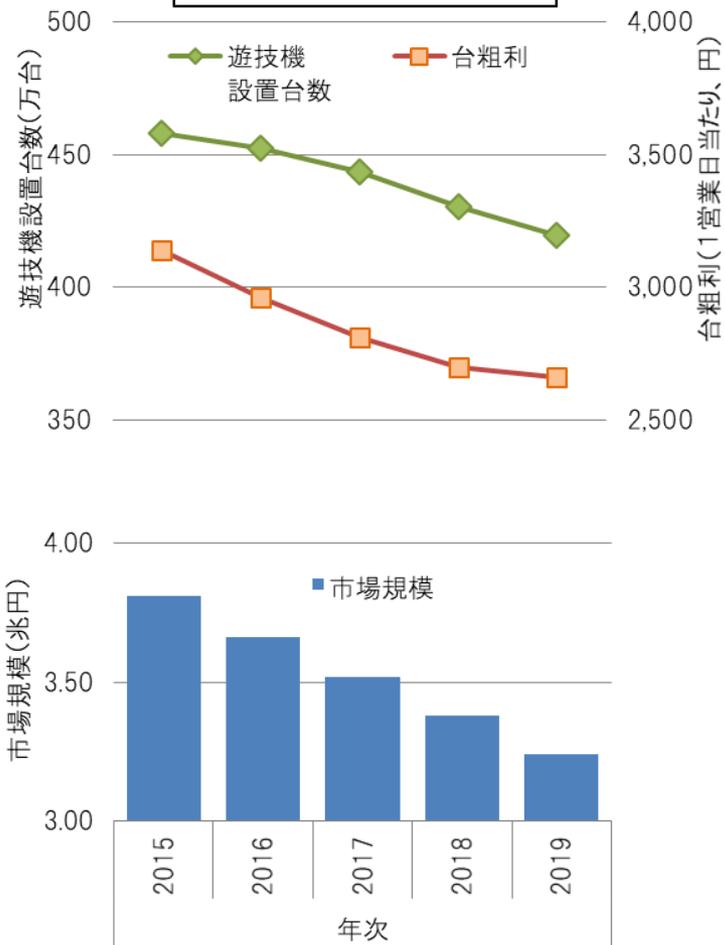
円/1株当たり	安定的に配当(方針)			合計	配当性向 (%)
	中間配当金	期末配当金	中間配当金 期末配当金 合計		
2017年3月期	10	40	50	50	147.0%
2018年3月期	10	30	40	40	75.3%
2019年3月期	10	30	40	40	46.8%
2020年3月期	10	30	40	40	55.7%
2021年3月期(予想)	10	30	40	40	197.1%

ご参考資料

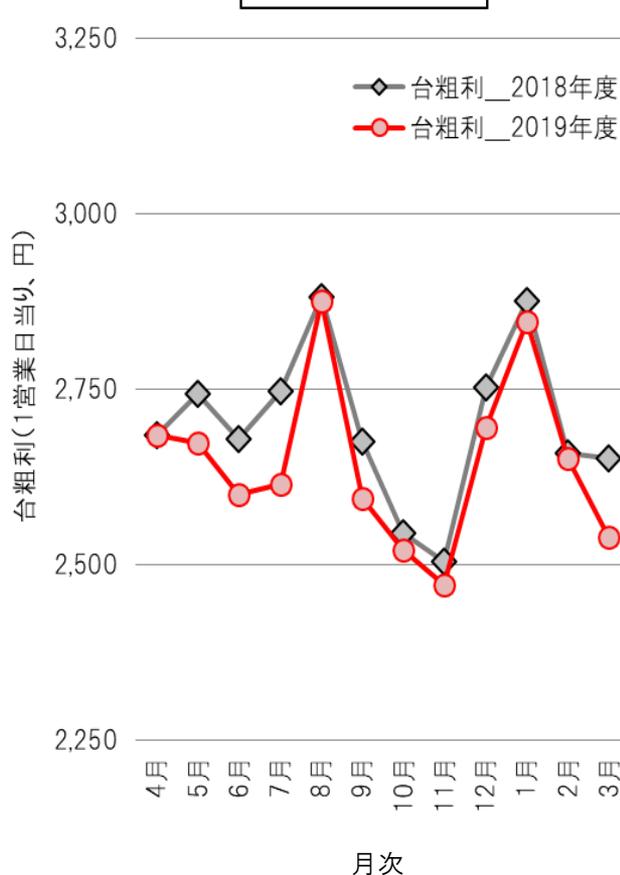
市場規模の推移

足元、厳しい業界環境にあると推定

遊技機市場規模 年次推移



台粗利 月次推移



遊技機市場規模 年次推移 (暦年)

	市場規模 (総粗利) (兆円)	遊技機 設置台数 (万台)	台粗利 (1営業日当り) (円)
2015	3.81	458	3,140
2016	3.66	453	2,960
2017	3.52	444	2,810
2018	3.38	430	2,700
2019	3.24	420	2,661
データ 出所	DK-SIS推 計	警察庁	DK-SIS推 計

台粗利 月次推移 (年度)

	台粗利(1営業日当り)		
	2018年度 (円)	2019年度 (円)	前年同月比
	2018年	2019年	
4月	2,684	2,684	±0
5月	2,743	2,673	△ 70
6月	2,680	2,600	△ 80
7月	2,747	2,615	△ 132
8月	2,882	2,876	△ 6
9月	2,676	2,594	△ 82
10月	2,545	2,521	△ 24
11月	2,505	2,471	△ 34
12月	2,753	2,696	△ 57
	2019年	2020年	
1月	2,875	2,847	△ 28
2月	2,659	2,651	△ 8
3月	2,652	2,540	△ 112
データ 出所	DK-SIS推計		

新型コロナウイルスの影響で、先行きの不透明感が増加

- 新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、パチンコホールは休業や時短営業を実施。
- 2021年1月末までに全ての旧規則遊技機は撤去予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、撤去期限を延長。
- 「技術上の規格解釈基準」の改正に伴い、日工組の内規制定によって新たな遊技性（遊タイムなど）の遊技機がリリース予定。遊技機入替需要による市場活性化に期待。

(注)日工組＝日本遊技機工業組合

2019年～2020年

2020年4月 健康増進法 全面施行

パチンコ遊技機の解釈基準改正、同内規制定

パチスロ遊技機の自主規制の見直し(6.1号機)

2020年7月～9月 東京オリンピック・パラリンピック

延期

2021年～2022年

2021年2月より

全ての遊技機は新規則機へ



撤去期限を延長

2021年7月～9月 東京オリンピック・パラリンピック

ファンが安心して来店・遊技できる設備・サービスを提案

■ 呼出ランプに、新型コロナウイルス感染予防を支援する機能を追加。

➤ 清掃・消毒作業を済ませた台をファンに告知し、ファンは安心して遊技。(図1)

➤ 清掃・消毒作業を行うホール従業員の作業負担を軽減。(図2)

図1



図2



パチンコホール、パチンコファン向けに、各種製品サービスを提供

ホールコンピュータ



店舗に設置された遊技台のデータを集計し、ホール経営に役立つ高度な分析を提供します。

また、台・景品・顧客・情報公開、セキュリティ等、店舗運営に必要なシステムを統合管理します。

最新モデル「X(カイ)」では、全国の当社ホールコンピュータから当社MIRAIGATEサーバーに送信されるビッグデータを活用し、AIによる自動分析(オートコンサル)、AIセキュリティ、高精度シミュレーション(Xai-SIS)をはじめ、禁煙化対応や新型コロナウイルス対応など、時流に合わせた機能の運用も可能です。



ファン向けWEB・アプリサービス



パチロボ(無料アプリ)では、全国のパチンコホールデータをファンが無料閲覧可能です。



サイトセブン(有料サイト)では、パチロボよりもっと詳しいデータをファンが閲覧可能です。

景品管理

獲得した出玉を景品交換するシステムです。最新POS「SP-01」では、店舗に合わせた設置や、15.6インチ大型タッチパネル液晶でのキーボードレス運用が可能です。



呼び出しランプ(大型液晶)



BIGMO PREMIUM II



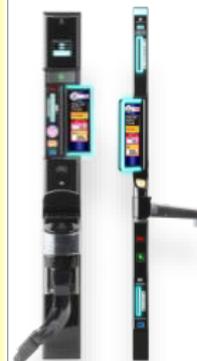
REVOLA

大当たりやスタートなど遊技台のデータ表示、機種に合わせた映像・光・音等による演出、ファンによるスタッフの呼出などを行います。

CRユニット

遊技するための玉やメダルを貸し出すために、遊技台毎に設置される端末です。

最新モデル「VEGASIA III」では大型タッチ液晶を備え、見やすく分かりやすい操作が可能です。また、「X」との連動で、ホール内での高度なセキュリティや分析を実現します。



時流に合わせた新製品を続々とリリース

～スタッフ省力化対応～ ウェアラブル端末 「WW-01」

～ホール禁煙化対応～

台毎端末での「ちょっと離席」機能
喫煙ブース 「スモーキングアーク」
喫煙室用デジタルサイネージ 「DiSMO」

特長

大型液晶を搭載したスマートウォッチ型の端末で、ホールスタッフが身につけて利用。

ファンからの呼び出し通知、遊技台データの異常や不正検知など、各種情報を発生の際、端末の振動と画面表示で伝達します。



喫煙のために離席する際、BiGMO PREMIUMやREVOLA、VEGASIA等の台毎端末で、ファンが離席操作を実施。

ファンは喫煙ブースに設置された「DiSMO」に表示される喫煙時間を見ながら安心喫煙。

スタッフは喫煙制限時間を超えた遊技台のインカム音声報知にて迅速な対応が可能。



効果

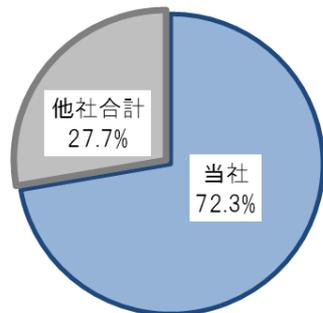
- 店舗運営における省人化
- スタッフによる高品質な接客

- 分煙環境整備による受動喫煙防止法への対応
- ファンが安心して喫煙離席できる遊技環境の提供
- システム連動での離席対応によるスタッフ省力化

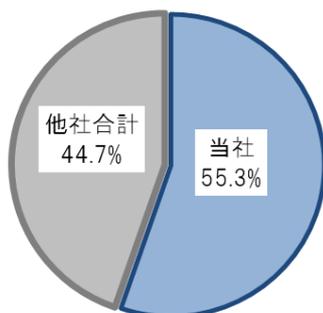
当社の事業展開 <情報システム事業>

大型店舗を中心に、ホールコンピュータシェアは業界首位

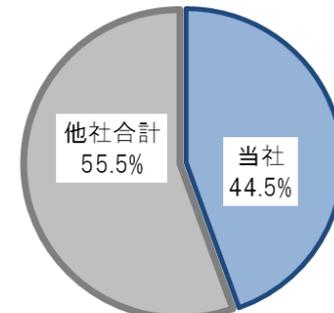
<表1> 大型店舗における当社シェア (1001台～)



<表1> 大型店舗における当社シェア (501台～1000台)



<表2> 総遊技機設置台数における当社シェア



<表1>パチンコホール店舗規模別の店舗数比較

店舗規模 (設置台数)	市場全体		当社(ダイコク電機)			他社合計		
	ホール数 (店)	構成比率	ホール数 (店)	構成比率	市場シェア (件数シェア)	ホール数 (店)	構成比率	市場シェア (件数シェア)
1001台以上	346	3.6%	250	7.3%	72.3%	96	1.5%	27.7%
501台～1000台	2,565	26.6%	1,418	41.3%	55.3%	1,147	18.5%	44.7%
301台～500台	3,451	35.8%	1,141	33.2%	33.1%	2,310	37.2%	66.9%
101台～300台	3,058	31.7%	618	18.0%	20.2%	2,440	39.3%	79.8%
～100台	219	2.3%	7	0.2%	3.2%	212	3.4%	96.8%
計	9,639	100%	3,434	100%	35.6%	6,205	100%	64.4%

<表2>パチンコホール総遊技機設置台数比較

	市場全体	当社(ダイコク電機)		他社合計	
	(台)	(台)	市場シェア (台数シェア)	(台)	市場シェア (台数シェア)
総遊技機設置台数	4,195,930	1,867,509	44.5%	2,328,421	55.5%
店舗数	9,639	3,434	35.6%	6,205	64.4%
平均遊技台数	435	544		375	

※合計情報は警察庁発表・2019年12月末時点でのホール店舗数と遊技機台数。
 ※当社は2020年4月時点。
 ※他社情報は合計情報からDKユーザーホール数を差し引いた数

遊技機メーカー向けソフトウェア/ハードウェアの開発・提供

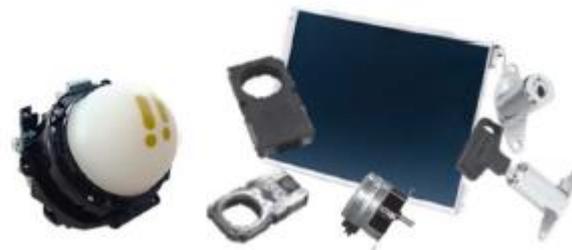
遊技機のソフトウェア/ハードウェアの開発・提供

パチンコ・パチスロ遊技機メーカーに対し、遊技機の企画やソフトウェア開発・ハードウェアを提供しています。



開発に関する当社取組み(例)

- ✓ DK-SISのデータの活用
- ✓ 工程管理の品質向上
- ✓ 筐体や機構部品なども含めた企画提案



企画提案力の強化、工程管理品質の向上等を通じ、遊技機メーカーへ提案可能な領域の拡大や付加価値の向上に取り組んでいます。

新ホールコン開発投資は一段落した今後も、継続的に開発投資を実施

最近の研究開発費

		情報システム事業		制御システム事業		計	
		(百万円)	前年同期比 (%)	(百万円)	前年同期比 (%)	(百万円)	前年同期比 (%)
2016/3期	上期 実績	1,925	+110.2%	636	△ 11.7%	2,562	+56.6%
	通期 実績	3,966	+46.3%	1,365	+21.4%	5,330	+39.0%
2017/3期	上期 実績	1,093	△ 43.2%	618	△ 2.8%	1,711	△ 33.2%
	通期 実績	2,240	△ 43.5%	820	△ 39.9%	3,060	△ 42.6%
2018/3期	上期 実績	965	△ 11.7%	275	△ 55.5%	1,240	△ 27.5%
	通期 実績	1,470	△ 34.4%	108	△ 86.8%	1,578	△ 48.4%
2019/3期	上期 実績	430	△ 55.4%	80	△ 70.9%	511	△ 58.8%
	通期 実績	1,124	△ 23.5%	82	△ 24.1%	1,206	△ 23.6%
2020/3期	上期 実績	406	△ 5.6%	307	+283.8%	713	+39.5%
	通期 実績	939	△ 16.5%	230	+180.5%	1,170	△ 3.0%
2021/3期	上期 計画	334	△ 17.7%	316	+2.9%	650	△ 8.8%
	通期 計画	670	△ 28.6%	83	△ 63.9%	753	△ 35.6%

※制御システム事業では、遊技機メーカーへの「開発費売上」を研究開発費の取消しとして計上しています。

ホールコンピュータ



AIホールコンピュータ「X(カイ)」

2019/6月発売

CRユニット



VEGASIA III

2017/6月発売

呼び出しランプ



BiGMO PREMIUM II

2018/2月発売



REVOLA

2016/5月発売

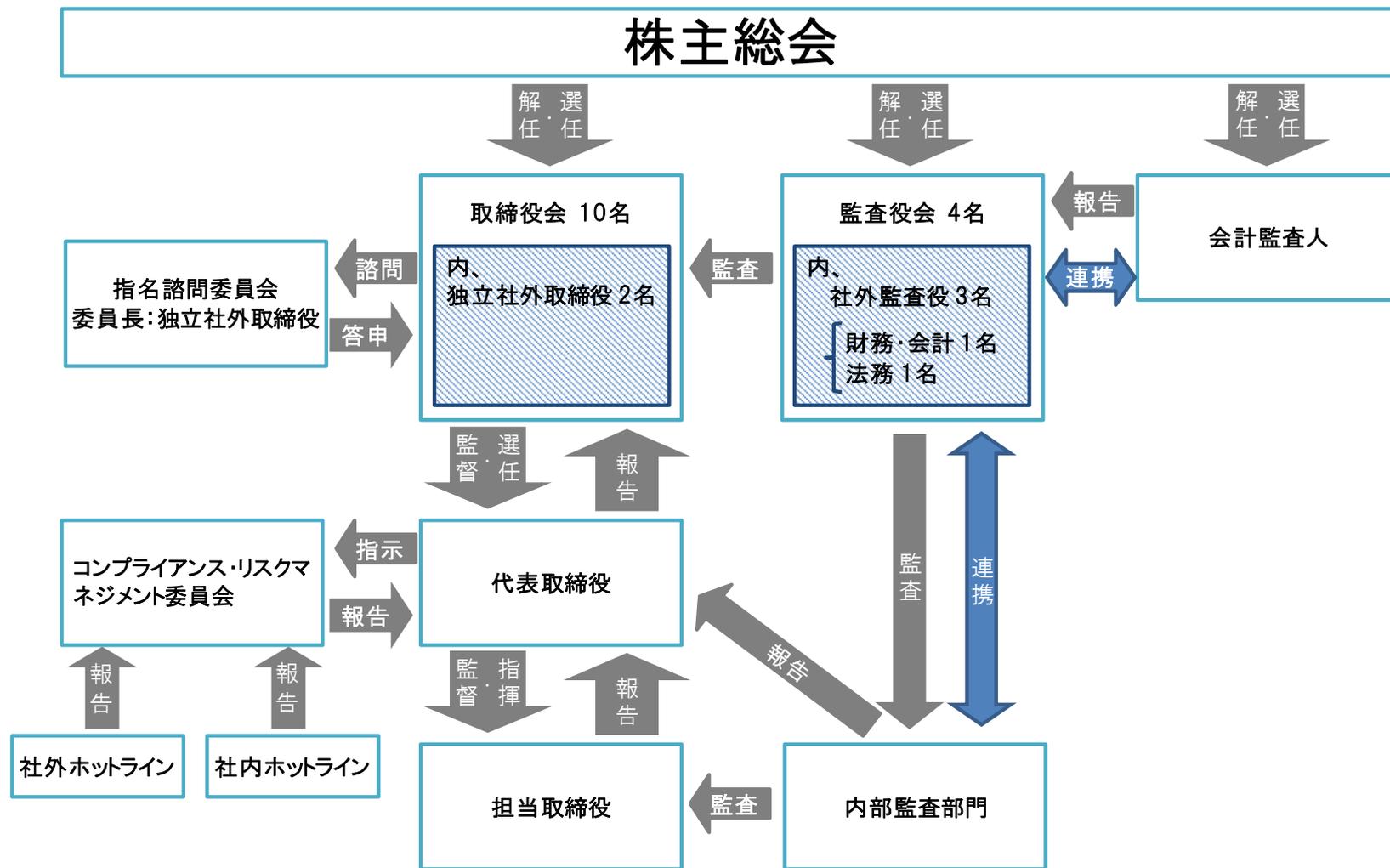


IL-X3

2018/2月発売

当社のESGへの取組み (1)

コーポレートガバナンス体制 (2020年3月末現在)



当社製品・サービスを通じ環境・社会問題に貢献すると共に社内で取組みを推進

当社製品・サービスと
貢献可能な環境・社会問題(例)

環境・社会問題に関する
当社内の取組み(例)

E
(環境)

■ パチンコホールの店舗環境改善

- 当社呼び出しランプ (LED)活用による消費エネルギー抑制(⇒CO2抑制) 
- 当社呼び出しランプ活用による店内音量の抑制(⇒店内環境向上) 

■ 環境配慮型本社ビル、事業所

- 当社本社ビルは省エネ設計が特徴で、CO2排出量を3割以上削減可能です。総合環境性能評価は最高評価のSランクを達成しています。(※次頁欄外) 

S
(社会)

■ パチンコホールの労働環境改善

- 当社ホールコンピュータ活用による店舗運営の効率向上(⇒労働時間短縮) 
- 当社各台計数端末活用による玉箱管理の労働負荷軽減(⇒労働環境向上) 

■ ダイバーシティ

- 柔軟な出退勤務を可能にすることで結婚や育児を支援する「マイライフ勤務制度」(⇒女性活躍推進)
- 「子育て支援制度」(⇒女性活躍推進)



企業の透明性やコーポレート・ガバナンスが有効に機能する施策に注力

G (ガバナンス)

当社の企業統治の体制

- 当社は、取締役会、監査役会及び会計監査人設置会社です。
- 当社の取締役の員数は10名、うち社外取締役は2名です(※)。
- 当社の監査役の員数は4名、うち社外監査役は3名です(※)。
監査役には財務・会計に関する知識を有する者を1名、法務に関する知識を有する者を1名それぞれ選任しています。

当社の企業統治の体制の実効性確保のための理解と取組み(例)

- 当社は、社外取締役及び社外監査役で会合を開催し、情報交換・認識共有を行っています。
- 独立社外取締役を委員長とした指名諮問委員会、報酬諮問委員会を設置しています。
- 業務執行面では、経営課題を迅速・確実に推進していくため事業部制を導入し、事業に関する収益責任と権限を事業部長(業務担当取締役)に持たせることで、業務執行体制の強化をはかっています。

※ 京都議定書におけるCO2排出量の基準年(1990年)をベンチマークと設定して、約33%の削減効果があると試算しています。総合環境性能評価は、国土交通省住宅局の支援により設立された建築物の総合的環境評価研究委員会の評価、格付けシステムによるものです。

※上記、当社の取締役及び監査役の員数は2020年3月31日現在です。

注 記

本資料に掲載されているダイコク電機の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。これらの情報は、現在入手可能な情報から当社の経営者の判断に基づいて作成されております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみにより全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。

投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるよう、お願い申し上げます。

■お問合せ先

ダイコク電機株式会社 総務部 IR担当

TEL 052-581-7111

E-MAIL xsomu@daikoku.co.jp